

魅力

自然 歴史・文化

体験・イベント

まちめぐり・まち景観

自然体験型ツーリズムと各種イベントの充実により滞在力を向上



明石海峡大橋・大鳴門橋により交通の利便性が向上したが、各観光施設等の活用及び集客イベントや催し物による日帰り型レクリエーションの充実と同時に、宿泊型観光の取り組みを進め、国生み神話・地域資源を活かした体験型ツーリズムや徳島県との連携によって滞在力を向上させ、単なる通過型とはならず、毎年1,000万人以上の観光入込客数(うち宿泊者数約150万人)を維持している。



大鳴門橋とうず潮

入込客数

平成14年(2002)	1,080万人
平成15年(2003)	1,065万人
平成16年(2004)	1,062万人
平成17年(2005)	1,069万人
平成18年(2006)	1,197万人

宿泊者数

143.2万人
145.5万人
143.1万人
143.7万人
156.3万人

※淡路市、洲本市、南あわじ市の合計

兵庫県観光動態調査

取組

案内・情報提供

景観保全・環境整備

体験・イベント開催

広域連携の促進

多彩な体験型ツーリズムの実施



地引き網体験

淡路島の豊かな自然環境、豊穡な食材、伝統的な文化、優れた農漁業の技術を生かし、淡路ならではの国生み神話の歴史、お香づくり、宿泊をからめた漁業体験等参加型観光メニューにより修学旅行をはじめ教育旅行として毎年多くの観光客が訪れている。

各種イベントの開催

春は各地で豪華な布団だんじり等が十数台集まり、伝統芸能のだんじり唄を披露する春祭り等、夏は大規模な花火大会が各地で開催される市民まつり、その他各観光施設でアイデアを活用したイベントを開催しており、多くの観光客が訪れている。



だんじり祭り

観光客への利便性の配慮

北淡路の観光スポットを周遊する「花バス」を平成15年から、春・秋(各1ヶ月間)運行(平成18年は約1万1人利用)している他、水仙の開花期に合わせて洲本・福良のバスターミナルから「水仙バス」を運行し、多くの観光客の利便性の確保を図っている。



花バス



黒岩水仙郷

広域観光ニーズへの対応

歴史、文化、自然等において関係の深い徳島県との連携を図って「淡路&徳島とくとく周遊ガイド」を作成し、この中で1泊2日から2泊3日の周遊モデルコースを紹介するとともに、各施設の入場料割引(主に1割引)、ミニプレゼントなどの特典がついてくる「とくとくクーポン」を用意し、周遊客やピーターの増加の促進及び広域観光の推進を図っている。また、エコツアーとして島北部をハイブリッドカーで巡る1泊2日の「ゆっくラー」の実施や、国生み伝説がある沼島への観光客誘致を目的とした案内板の整備等、受け入れ体制の整備を図っている。



とくとく周遊ガイド

兵庫県淡路県民局地域振興部商工労政課
TEL:0799-26-2085 URL:http://web.pref.hyogo.jp